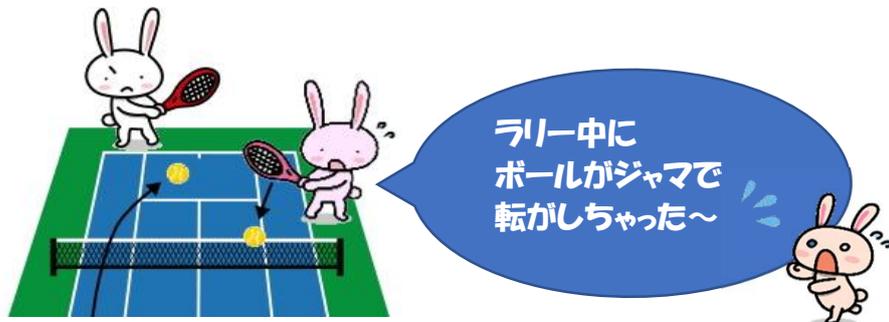


## 確認しておきましょう!

### セルフジャッジの試合のルールの中から～ (JTAテニスルールブックの中から抜粋)

- ☆ 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォルトのボールを誤って蹴飛ばしたりラケットで弾いた時、相手プレイヤーがプレーを妨害されたと判断した場合は「レット」をコールすることができる。(当該プレイヤー、チームはコールできない)  
1回目はポイントのやり直し。  
2回目以降はその都度相手への故意の妨害となり失点する。

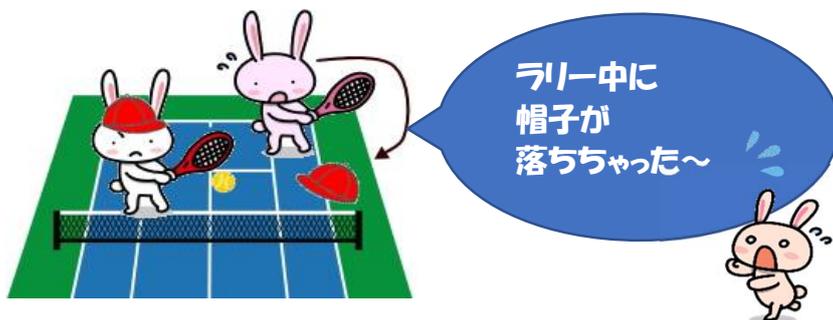


相手プレイヤーが妨害されたと判断したら「レット」  
※相手プレイヤーがコールできる  
1回目 ポイントのやり直し  
2回目以降  
故意に妨害したとして失点



※ネットに寄せたボールが強風で転がる可能性もあるので、コート上のボールは拾うなどして事前に防ぐようにしましょう。  
※他のコートからボールが転がってきた場合の「レット」は4人のプレイヤー共にコールすることができます。

- ☆ インプレー中、帽子やポケットに入れたボール等、持ち物を落とした時、相手プレイヤーがプレーを妨害されたと判断した場合は「レット」をコールしてプレーを停止しポイントをやり返す。(当該プレイヤー、チームはコールできない)  
(ラケットを落とす、シューズが脱げる、は妨害にならない)  
1回目はポイントのやり直し。  
2回目以降はその都度相手への故意の妨害となり失点する。  
ただし、「レット」がコールされた時、ボールがコート内に入らなかった場合、そのボールを打ったプレイヤーは失点。コート内に入ったボールが明らかなウィニングショットまたはエースだった場合、そのボールを打ったプレイヤーの得点となる。



相手プレイヤーが妨害されたと判断したら「レット」  
※相手プレイヤーがコールできる  
1回目 ポイントのやり直し  
2回目以降  
故意に妨害したとして失点



- ☆ 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」のコールは両プレイヤー・チームができ、その判定が成立する。



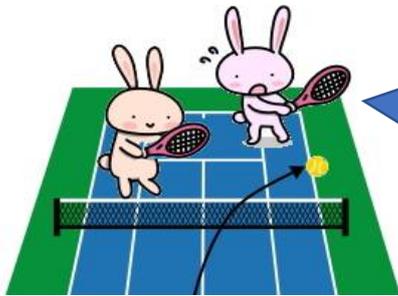
サーブの「ネット」や「ノットアップ」も両プレイヤー・チームのいずれかがコールできる。  
はっきりと聞いた、見えたとき確信がもてた時にコールしましょう。



- ☆ インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール（ミスジャッジ）しても、直ちに訂正した場合、1回目は故意ではない妨害としてポイントレット（ポイントのやり直し）にする。

2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウィニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジしたプレーヤーの失点となる。



アウト!  
ごめんなさい!  
入りました~



1回目

故意ではない妨害として  
ポイントのやり直し

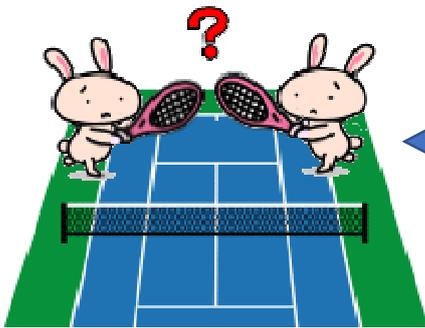
2回目以降

故意に妨害したとして失点



※「アウト」「フォールト」はボールとラインの間にハッキリと空間が見えた時です！  
判定が難しい場合は「グッド」相手に有利に！

- ☆ スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが同意できるスコアまでさかのぼる。それ以降のプレーで双方が合意できるポイント足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。



スコアが  
わからなくなっ  
ちゃった~



双方が合意できるスコアまで  
さかのぼり、それ以降の  
合意できるポイントを足した  
スコアから再開



※スコアがわからなくなったり、双方のくいちがいがおきないように、サーバーはサーブを打つ前に、スコアをレシーバーに聞こえる声でアナウンスしてプレーヤー同士、その時点のスコアをしっかりと確認しましょう！  
判定とコールも、相手にはっきりとわかる声とハンドシグナルで！

- ☆ 「スタートオブマッチ」 (JTAテニスルールブック2021年から)  
両選手がコート内のベンチに到着後、1分以内にネット中央に集まる。  
トスの後、決められたウォームアップを開始、終了後1分以内に準備し試合を開始する。



試合前に集まったら  
おしゃべりが  
止まらない

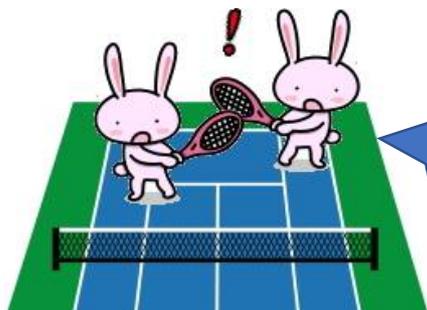


ベンチ到着後1分以内に  
ネット中央に集合。  
トスしてウォームアップ開始、  
終了後1分以内に試合開始。



※試合開始時間に遅れたり、集まってもおしゃべりに花を咲かせて開始を遅らせたりすることのないよう、時間を守って行いましょう。試合終了後の本部への報告も速やかにお願いします。

- ☆ ノーアドバンテージの試合なのにスタンダード方式と間違えた場合  
デユースの後レシーバーチョイス無しでデユースコートから1ポイントプレーしてから  
ノーアドだったと気づいた場合、その結果をそのまま成立させゲーム終了となる。  
気づいた時ゲームが終了していたら、その結果は成立する。



デユースで1ポイント  
やったけど  
ノーアドだった~

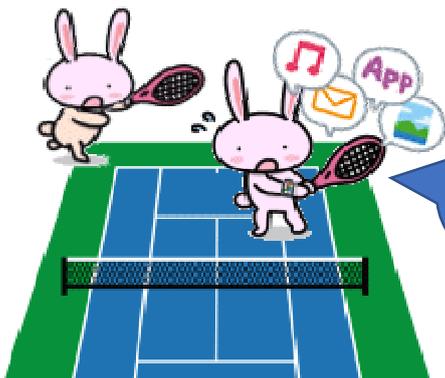


やり直すのではなく、  
1ポイント目の結果を  
そのまま成立させて  
ゲーム終了。



※ノーアドバンテージの試合なのかどうか、確認してから始めましょう！

- ☆ プレーヤーは試合中いかなる電子機器も使用してはならない。  
スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。  
(電子機器とはトランシーバー、携帯電話、CDプレーヤーなど)



スマートウォッチ  
つけていても  
いいのかな~?



スマートウォッチは  
電源が切られていても  
試合中の着用はできません



※スマートウォッチは試合の時は外してください。  
携帯電話は、試合中は電源を切って（またはマナーモードに設定して）  
プレーの妨げにならないようにすることをお忘れ無く！

その他、ルールブックをご確認ください。

正しいルールの理解と  
相手をリスペクトするフェアプレー精神  
をもって試合にのぞみましょう!!

